

浅草六区で防災・減災を目的としたデジタルサイネージの活用について実証実験

レジスター・POS・デジタルサイネージメーカーの株式会社TBグループ(本社:東京都文京区、社長:村田三郎)は、六区ブロードウェイ商店街振興組合(東京都台東区、代表理事:熊澤永行)主催の社会実験「災害に備えま SHOW」[注1]にて、防災・減災を目的としたデジタルサイネージの有効性を評価します。

● 「災害に備えま SHOW」における実証の概要

「災害に備えま SHOW」では六区ブロードウェイ商店街に設置されている複数の広告用大型デジタルサイネージ(LEDビジョン)に対して緊急用信号を一斉に発信することで、災害発生を想定したコンテンツへの一斉切り替えを行ないます。

この仕組みにより宣伝広告用に設置されたデジタルサイネージを使って、災害時に観光客や地域住民にその地域における適切な情報発信が可能となります。またこの一斉切り替えは平常時においても地域のイベント等に利用することができます。

「災害に備えま SHOW」では災害発生を想定し3種類のコンテンツを一斉に切替えるデモにより有効性を評価する予定です。(10月14日(金)14時~14時30分、16時~16時30分の2回実施)

なお今回、この緊急用信号の一斉発信を行なうにあたり、災害に強い地域通信ネットワーク「[略図1]」を利用しています。

当社は国内外の観光客で賑わう浅草六区にデジタルサイネージを中心とした技術支援・協力を行ないます。また今後ここで得られる成果とノウハウを新製品/新サービスに反映・展開して参ります。

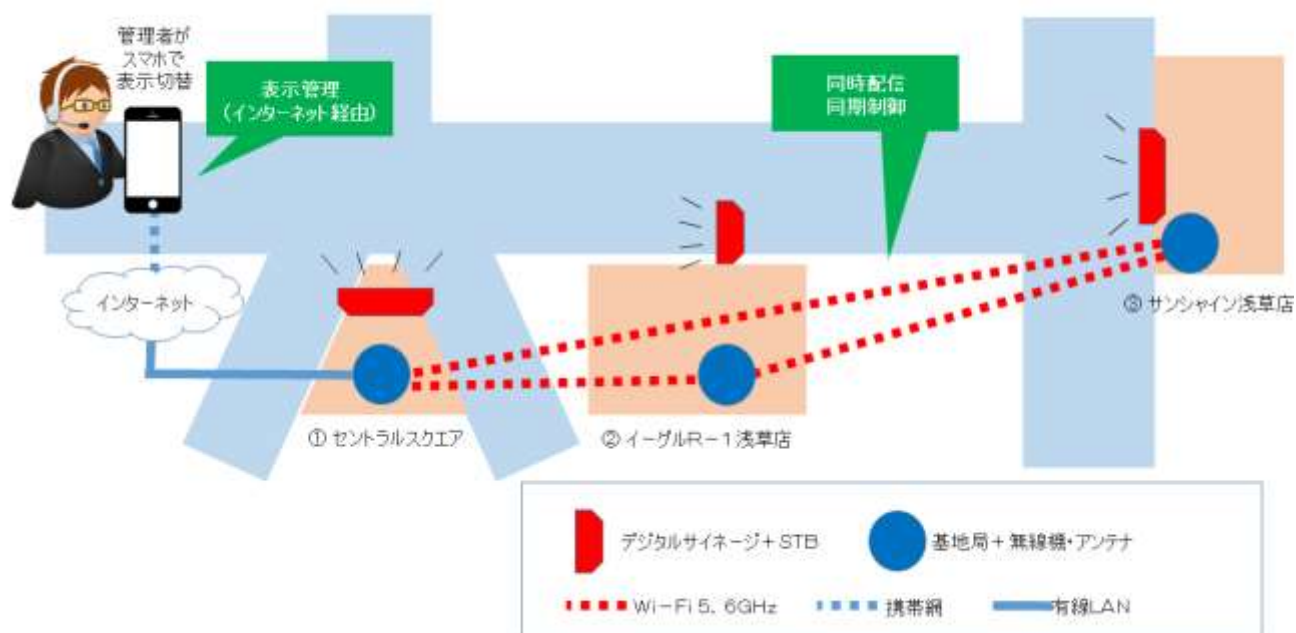
以上

[注1] 社会実験の概要「災害に備えま SHOW」

東京都台東区浅草の六区ブロードウェイ商店街振興組合は、国家戦略特別区域法による道路占用の事業認定を目指し、都市の魅力向上と一層の賑わいの創出に向けて、「浅草六区オープンカフェ 2016」~道路法の特例を活用した社会実験(第2期)~を浅草六区ブロードウェイ(東京都台東区浅草1-25~台東区浅草2-6)にて実施します。(9月30日(金)から10月30日(日)までの金土日祝日)

「災害に備えま SHOW」は防災・減災をテーマとしており、浅草六区で近年増加する訪日外国人観光客や、帰宅困難者の支援を目指しています。浅草六区に備わるWi-Fi環境、デジタルサイネージ、演者を活用した“SHOW”(10月14日(金)14時~14時30分、16時~16時30分の2回)と、起震車体験や防災・減災のための豆知識コーナーなどの“アクティビティ”(10月14日(金)12時~17時)が行われます。

[略図 1]



【関連URL】

台東区

<http://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/kenchiku/oshirase/asakusa.html>

日本ユニシス株式会社

http://www.unisys.co.jp/news/nr_161012_meshnetwork.html

この件に関するお問い合わせ先
株式会社TBグループ LED&ECO本部 岡
03-5684-2330